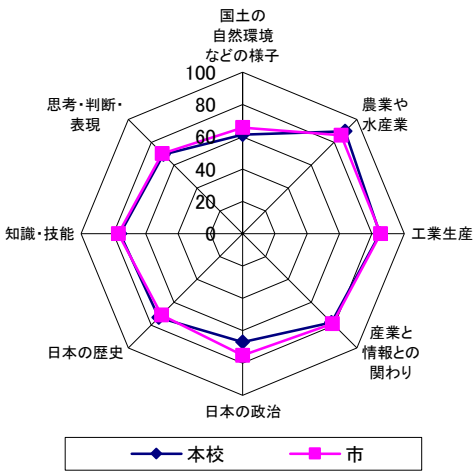


宇都宮市立国本中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	61.3	65.7	67.0
	農業や水産業	89.7	86.1	77.5
	工業生産	84.9	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	77.8	78.6	69.6
	日本の政治	67.1	75.2	65.8
	日本の歴史	73.4	71.1	69.1
観点別	知識・技能	75.9	77.0	72.8
	思考・判断・表現	69.4	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋名について理解しているかを問う問題では、正答率が76. 2%で市の平均より6. 4ポイント上回った。 ●日本の周辺の国と領土の端についてを理解しているかを問う問題では、正答率が55. 6%で市の平均より7ポイント下回った。	・日本の周辺の国や領土の端については、日本の周辺国や領土への関心をもたせながら、画像などで地図を確認できるようにして、理解を深められるようにする。
農業や水産業	○水産業の国内生産と輸入量の変化について、資料を読み取る問題では、正答率が95. 2%で市の平均より7. 1ポイント上回った。 ○食糧生産に関する地図を読み取る問題では、正答率が93. 7%で市の平均より7. 1ポイント上回った。	・日本の農業や水産業に関わる食糧生産についてよく理解できているので、引き続き各種資料の読み方に慣れながら、資料の意図や関係性についての考えをもてるようにし、自分の言葉で表現できるようにする。
工業生産	○電気自動車に着目して、環境に配慮して生産された自動車について考え、ガソリンカーと比較して表現する問題では、正答率が79. 4%で市の平均より1ポイント上回った。 ●工業製品の種類について理解しているかの問題では、正答率が90. 5%で市の平均より1. 8ポイント下回った。	・日本の工業生産に関わる学習内容では、資料を活用して指導を行い、自分の考えを表現できるようにしてきたので、自分の考えを適切に表現できた。工業製品の種類については、写真や画像により理解を深められるようにする。
産業と情報との関わり	○情報の正しい受け取り方について理解しているかを問う問題では、正答率が95. 2%で市の平均より3. 6ポイント上回った。 ●森林を守るための干ばつについて理解しているかを問う問題では、正答率が58. 7%で市の平均より8. 4ポイント下回った。 ●自然災害から身を守る取り組みについて理解しているかを問う問題では、正答率が81. 0%で市の平均より9. 3ポイント下回った。	・生活に関わる情報の受け取りについては理解できていた。自然に関わる環境や災害についての問題では、新聞記事やニュース映像を効果的に活用して関心を高めながら、理解の定着を図るようにする。
日本の政治	●日本国憲法における天皇の地位についての理解を問う問題では、正答率が55. 6%で市の平均より14. 5ポイント下回った。 ●国会の働きについて理解しているかを問う問題では、正答率が58. 7%で市の平均より8. 1ポイント下回った。	・天皇の地位などについての資料を画像で効果的に提示し、日本国憲法の正しい理解を深められるようにする。また、国会の働きについては、映像資料等を効果的に活用して理解の定着を図るようにする。
日本の歴史	○現在の和室の様子に着目して、室町文化の特徴について捉え、表現する問題では、65. 1%で市の平均より7. 7ポイント上回った。 ●弥生時代の人々のくらしに着目して、米づくりが広まったことについて考え、判断できるかの問題では、79. 4%で市の平均より6. 2ポイント下回った。	・室町時代の理解はできていて、自分の考えを適切に表現することもよくできていた。弥生時代の理解についてや適切な判断については課題が見られた。日本の歴史については、特に縄文時代から平安時代の重要な事象を理解したうえで、自分の言葉でまとめる力を伸ばすようにする。